



「KOMABA DAY」は月に一度実施している日で、世界で起こっている様々な問題に子どもたちが触れる機会を作っています。また、同日は募金箱も設置します。集まった募金は災害などの緊急支援やKOMABAの開校以来、その活動を応援し続けているトータルペインター・ミヤザキ ケンスケさんのプロジェクト OVER THE WALL に役立てられます。なお楽しみながらの活動を目指しているため、「KOMABA DAY」では講師は私服で授業をし、生徒は授業中の飲食を可としています。

## 台風犠牲者 92 人に — フィリピン

### 農作物にも大きな被害



フィリピン東部レイテ島などが台風「メギ」に直撃され、当局によると、4月13日までに76人が死亡、今も数十万人が避難を続けている。

台風は10日に上陸して、東部や南部の沿岸部で土砂崩れや洪水が相次いだ。国家災害対策当局によると、少なくとも29人が行方不明になり、8人が負傷している。被災者は92万人を超え、20万人以上が避難した。国家災害対策当局は約660の避難所を運営している。

農務省によると、今回の台風による農作物の被害は同13日の時点で4億2380万ペソ（約10億円）と推定され、前日の2倍に増えた。少なくとも6557軒の農家と1万920ヘクタールの農地が被災して、コメやトウモロコシ、家畜などに被害が出ているという。特に西ビサヤ地方、東ビサヤ地方、カラガ地方では大きな被害が出ている。

レイテ島ベイベイ市の警察は、レイテ島東部で土砂崩れの下敷きになった22人の遺体が見つかったと記者団に語った。集落が土砂崩れに襲われ、洪水に押し流された人もいたとしている。

レイテ島アブヨグ市の市長はフェイスブックへの投稿で、土砂崩れによって1つの集落が全滅したと伝え、負傷した子どもや高齢者などの一部は救助できたと述べている。



フィリピン南部レイテ州で、住民の避難を援助する沿岸警備隊員と警官



フィリピン南部レイテ州で、洪水で浸水した学校の校舎の航空写真

日本では台風は夏や秋に来るイメージが強いですが、実は台風は春にも発生しています。春に日本に来ないのは日本に来るための「通り道」がないためで、今回のように他の国では春に台風の影響を受けることはあるようです。また、春の台風は直接日本に影響を与えることはないですが、春に発生した台風の影響で日本列島が大雨に見舞われるなど間接的に影響を受けています。

日本から離れたフィリピンの出来事ではありますが、決して他人事で済ませるわけにはいきません。フィリピンは7000の島からなる国であるため、台風のみならず地震や噴火などのリスクもあり、日本と同じ災害大国ということが出来ます。今回のようなニュースを見て、日本でも同じことが起きると考えて防災に努めることが求められます。また、他の国の出来事でも自分たちの生活に影響していることを知るいい機会でもあると考えました。

(生井)